

科目名		国語Ⅲ (Japanese Ⅲ)							
学年		単位数		必修 / 選択	授業形態	開講時期	総時間数		
第3学年	機械工学科 経営情報学科	履修	2単位	—	講義	通年 90分/週	60時間		
担当教員		【常勤】 赤迫照子							
学習到達目標									
科目の到達目標レベル	(1)読む力:ある概念に関して抽象化と具体化ができる。文法事項を理解し、作品を読解できる。段落同士の関係を正確に把握できる。常用漢字が読める。読書を楽しむことができる。 (2)書く力:論理的かつ簡潔な文章が書ける。常用漢字の書き取りができる。読書感想文が書ける。 (3)話す力:適切に音読できる。根拠を明示しながら自分の意見を述べる事ができる。課題に応じて質疑応答や議論ができる。 (4)聞く力:授業のポイントを的確に聞き取り、情報を整理できる。								
学習・教育目標	(G)①	JABEE基準1(2)							
関連科目, 教科書および補助教材									
関連科目	国語Ⅰ、国語Ⅱ								
教科書	「現代文 新訂版」「新編 古典」筑摩書房								
補助教材等	「ステップアップ高校漢字問題集」(東京書籍)、「カラー版新国語便覧」(第一学習社)、国語辞書								
達成度評価 (%)									
評価方法 指標と評価割合	中間試験	期末・学年末試験	小テスト	レポート	口頭発表	成果品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	30	5	5				30	100
知識の基本的な理解 【知識・記憶、理解レベル】	○	○	○					○	
思考・推論・創造への適用力 【適用、分析レベル】	○	○		○				○	
汎用的技能 【コミュニケーションスキル、課題発見、論理的思考力】	○	○							
態度・志向性(人間力) 【 】									
総合的な学習経験と創造的思考力 【 】									
学習上の留意点および学習上の助言									
<ul style="list-style-type: none"> ・授業の展開は以下を基本とする。 小テスト・ことばの学習(20分)→読解問題に取り組む(40分)→解説を聞きながら採点を(30分) ・本授業の主眼は、読解力の鍛錬を通して論理的思考力を高めることである。しっかり集中しなければ読解問題には取り組めない。各自、授業に取り組む姿勢を整えておくこと。 ・読解問題は教科書の文章だけではなく、教科書掲載以外の文章からも出題する。 ・読解問題は毎回提出し、「その他」として評価する。 ・漢字テストは「小テスト」の一つとして評価する。 ・読書一行感想カードは「レポート」として評価する。 ・授業中、プリントを配付する。ファイルを準備し、整理しておくこと。 									

授業の明細

回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	ガイダンス	・シラバスを読み、授業の概要、学習到達目標、成績評価方法等を理解する。	予習と復習：シラバスを熟読する。
2	評論文 I-1	<ul style="list-style-type: none"> ・接続語や指示語等に注目しながら文脈を把握することができる。 ・段落同士の関係に注意しながら、論理の展開や要旨を的確にとらえることができる。 ・抽象的な事象について、具体例を補いながら読解することができる。 ・筆者のものの見方や考え方を理解できる。 ・評論用語に慣れる。語彙力を身につける。 	予習：次回の小テストに備えて出題範囲を学習する。 復習：小テストや読解問題で間違えた箇所を見直し、正答を理解しておく。
3	評論文 I-2		
4	評論文 I-3		
5	評論文 I-4		
6	評論文 I-5		
7	評論文 I-6		
8	評論文 I-7		
9	中間試験		
10	試験返却・解答解説	<ul style="list-style-type: none"> ・解説を聞いて間違えた箇所を訂正する。 ・何をどのように間違えたのかを振り返った上で、正答を理解する。 	
11	小説 I-1	<ul style="list-style-type: none"> ・近代と現代の小説を読解し鑑賞することができる。 ・登場人物の心情を把握し、描写を味わうことができる。 ・表現上の工夫をとらえることができる。 ・基礎的な文学史的事項について、知識を身につける。 	予習：次回の小テストに備えて出題範囲を学習する。 復習：小テストや読解問題で間違えた箇所について、理解しておく。
12	小説 I-2		
13	小説 I-3		
14	小説 I-4		
15	期末試験		
15	試験返却・解答解説 まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・解説を聞いて間違えた箇所を訂正する。 ・何をどのように間違えたのかを振り返った上で、正答を理解する。 ・前期の学習事項のまとめを行う。 	

授 業 の 明 細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
16	随想Ⅰ-1	<ul style="list-style-type: none"> ・接続語や指示語等に注目しながら文脈を把握することができる。 ・表現に即して文脈を正確に読み取り、筆者の経験について理解できる。 ・筆者のものの見方や考え方が理解できる。 ・表現上の工夫や面白さを具体的に指摘することができる。 	予習：次回の小テストに備えて出題範囲を学習する。 復習：小テストや読解問題で間違えた箇所について、理解しておく。
17	随想Ⅰ-2		
18	随想Ⅰ-3		
19	評論文Ⅱ-1	<ul style="list-style-type: none"> ・接続語や指示語等に注目しながら文脈を把握することができる。 ・論理の展開や要旨を的確にとらえることができる。 ・抽象的な事象について、具体例を補いながら読解することができる。 ・筆者のものの見方や考え方が理解できる。 ・評論用語が理解できる。 	予習：次回の小テストに備えて出題範囲を学習する。 復習：小テストや読解問題で間違えた箇所について、理解しておく。
20	評論文Ⅱ-2		
21	評論文Ⅱ-3		
22	評論文Ⅱ-4		
23	評論文Ⅱ-5		
24	中 間 試 験		
25	試験返却・解答解説	<ul style="list-style-type: none"> ・解説を聞いて間違えた箇所を訂正する。 ・何をどのように間違えたのかを振り返った上で、正答を理解する。 	
26	小説Ⅱ-1	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な文学史的事項について、知識を身につける。 ・登場人物の心情を把握し、優れた描写を味わうことができる。 ・表現上の工夫をとらえることができる。 	予習：次回の小テストに備えて出題範囲を学習する。 復習：小テストや読解問題で間違えた箇所について、理解しておく。
27	小説Ⅱ-2		
28	随想Ⅱ-1	<ul style="list-style-type: none"> ・接続語や指示語等に注目しながら文脈を把握することができる。 ・表現に即して文脈を正確に読み取り、筆者の経験について理解できる。 ・筆者のものの見方や考え方が理解できる。 ・表現上の工夫や面白さを具体的に指摘することができる。 	予習：次回の小テストに備えて出題範囲を学習する。 復習：小テストや読解問題で間違えた箇所について、理解しておく。
29	随想Ⅱ-2		
	期 末 試 験		
30	試験返却・解答解説 まとめ 授業改善アンケートの実施	<ul style="list-style-type: none"> ・解説を聞いて間違えた箇所を訂正する。 ・何をどのように間違えたのかを振り返った上で、正答を理解する。 ・後期および一年間のまとめをする。 	
総 授 業 時 間 数			60 時間